

『京大マガジン』1号のためのスペシャルトーク

歴史と物語のあいだ

畠山丑雄 × 藤原辰史



©新潮社

はたけやま・うしお 1992年大阪生まれ。京都大学文学部卒。2015年『地の底の記憶』（河出書房新社）で文藝賞受賞、2025年『改元』（石原書房）で三島由紀夫賞候補、2026年『叫び』（新潮社）で芥川龍之介賞、京都市文化芸術きらめき賞受賞。11月に石原書房より『福翁四題 その他の短編』発売予定。



ふじはら・たつし 1976年生まれ。島根県出身。京都大学人文科学研究所教授。専門は現代史。著書に『ナチスのキッチン』（共和国、河合隼雄学芸賞受賞）、『生類の思想』（かたばみ書房、小林秀雄賞受賞）、共著に『中学生から知りたいパレスチナのこと』（ミシマ社）など。

2026年11月16日(月)
18:00-19:30 受付開始 17:30

会場 京都大学国際科学イノベーション棟5階 HORIBAシンポジウムホール

参加
無料

下記 QR コードより
お申し込みください



聞き手

三島邦弘

みしま・くにひろ 1975年京都生まれ。ミシマ社代表。一冊! 取引所の代表を務める。雑誌「ちゃぶ台」編集長。著書に『計画と無計画のあいだ』（河出文庫）、『出版という仕事』（ちくまプリマー新書）など。

歴史と物語を往還するなかで
言葉はどのように蠢き、湧いてくるのか——
京大出身でいま最注目 of 芥川賞作家に聞く

このたび、京都大学とミシマ社の共同事業である『京大マガジン』1号の関連企画として、スペシャルトークを実施します。『京大マガジン』は京大の基本理念にある「自由と自主」の思想を体现することをめざして制作する、新しい雑誌です。異分野対話や学内外の交流を通して、新たな知の交流回路を開くことで、

多様な研究活動を後押ししてまいります。今回は今年1月に芥川賞を受賞した作家の畠山丑雄さん（京大・文学部卒）をゲストにお迎えし、編集長で歴史学者の藤原辰史先生（京大・人文科学研究所）とともに、「書くこと」における試行錯誤やプロセスに焦点を当てながら、自由に語り合っていただきます。

お申し込み

定員 | 200名

申込先着順、
定員に達し次第受付終了

URL | <https://forms.gle/NpesWPLFae9tgyqx7>

●お申込み者には後日アーカイブ動画配信（限定公開）あり
●当日は会場で『京大マガジン』0.5号を含む関連書籍の展示・販売も予定しています



会場アクセス

国際科学イノベーション棟
（京都大学本部構内）

URL | <https://iac.kyoto-u.ac.jp/access/>

京阪 出町柳駅より徒歩約20分

「京大正門前」バス停より徒歩約3分

●駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください

